

国内経済要録

◇国際復興開発銀行債券の引受け

国際復興開発銀行は、9月15日同行債券100百万ドル（同日満期到来分の借換え発行、期間2年、利率年4％——旧債と同条件）を発行したが、本行は割当額5百万ドル全額（うち満期到来債見合分2,250千ドル）を引き受けた。この結果、本行の同行債券保有額は、15百万ドルに増加した。

◇貸付信託受益証券の期限前買取りの場合の利回り引下げ

信託業界は、貸付信託受益証券を期限前に買い取る場合の、いわゆる途中利回りの引下げなどにつき、10月から次のとおり実施することとなった。

- (1) 貸付信託受益証券の期限前買取りの場合の利回り
イ、5年ものは、現在1年目（1年経過時に買い取る場合の利回り、以下同じ）5.5％、2年目6.5％を基準として決めているが、この基準を、1年目5％、2年目6％に改める。
ロ、2年ものは、現在の1年目5.5％を5.25％に改める。
- (2) 期限前買取りを行なうのは、真にやむを得ない場合に限り、また期限前買取り請求が予想されるような資金については、その受入れを差し控える。
- (3) 期限前に受益証券の買取りを第三者にあつ旋する扱い（通常満期レートを適用）は自粛する。

◇昭和38年度下期外貨予算の決定

政府は、9月30日の閣僚審議会で、昭和38年度下期外

貨予算を、総額5,115百万ドル（前期4,685百万ドル、前年同期4,402百万ドル）と決定した。概要次のとおり。

- (1) 輸入貨物予算……予算規模は、本予算3,565百万ドル（前期比5.8％増）、予備費250百万ドル（同166.0％増）、計3,815百万ドル（同350百万ドル、10.1％増）。予算計上の前提となる下期中の経済見通しとしては、鉱工業生産は上期よりも若干なだらかな増勢、国際収支は65百万ドルの赤字（経常収支250百万ドルの赤字、資本収支185百万ドルの黒字）を想定。
- (2) 貿易外支払予算……予算規模は1,300百万ドル（前期比80百万ドル、6.8％増）。前期予算に計上された本行の米市銀からの特別借款の返済分を除いてみれば、前期比152百万ドル（13.8％）の大幅増加。貿易規模拡大に伴う運輸関係など諸払の増加、従来の外資・技術導入の盛行に伴う諸払の増高、各種債務の返済集中などによる。

昭和38年度下期外貨予算

（単位・百万ドル）

		38年度 下期	前期比	前 年同期比
輸 入 物 資	本 予 算	3,565	+ 194	+ 411
	{ うち F A	705	- 91	- 69
	A A	2,400	+ 250	+ 400
	予 備 費	250	+ 156	+ 250
	計	3,815	+ 350	+ 661
貿 易 外 支 払	本 予 算	1,250	+ 80	+ 52
	{ うち 経常取引	950	+ 100	+ 202
	資本取引	300	- 20	- 150
	予 備 費	50	-	-
	計	1,300	+ 80	+ 52
合 計		5,115	+ 430	+ 713